

令和4年度 公社等経営評価シート
(対象期間：令和3年4月1日～令和4年3月31日)

| | | | | | | | |
|--------|-------|---|-----|-----------|---|----------------|--------|
| 概 要 | 名 称 | 宮崎県道路公社 | | 所在地 | 宮崎市橋通東2丁目7番18号 | | |
| | 電話番号 | 0985-25-1588 | | ホームページ | http://www.miyazaki-dk.or.jp | | |
| | 設立年月日 | 昭和46年9月1日 | 代表者 | 理事長 大西 祐二 | 県所管部・課 | 国土整備部 道路建設課 | |
| | 総出資額 | 2,987,000 千円 | | 県出資額 | 2,987,000 千円 | 県出資比率 | 100.0% |
| | 設立目的 | 宮崎県の区域及びその周辺の地域において、その通行又は利用について料金を徴収することができる道路の新設、改築、維持、修繕その他の管理を総合かつ効率的に行うこと等により、この地域の地方的な幹線道路の整備を促進して交通の円滑化を図り、もって住民の福祉の増進と産業経済の発展に寄与することを目的とする。 | | | | | |
| | 特記事項 | 当公社は、地方道路公社法に基づき設立され、これまで有料道路事業を実施している。計画では、令和2年2月末に無料化の予定であったが、国土強靱化の観点から有料道路内の橋梁の耐震対策が急務であると判断し、令和元年10月に国の許可を受け、料金徴収期間を10年間延長することとなった。 | | | | | |

| 内容 | | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 |
|--------------|-------------|---|---|---|
| 改革 工 程 | ①公社等のあり方見直し | <p>事業計画の着実な推進</p> <p>橋梁耐震化及び津波避難誘導対策を早期に実施するため、計画的な業務の処理を行うとともに、利用者の利便性向上を図り、料金収入の確保と経費の削減に努める。</p> | <p>橋梁耐震化や津波避難誘導対策を着実に推進するとともに、利用者にとって安全・安心で快適な道路となるよう維持管理を行う。</p> <p>新型コロナウイルス感染症等の影響により、厳しい経営環境が予想される中で、多様な利用促進策の実施による料金収入の確保と経費の縮減に取り組み、健全な経営に努める。</p> | <p>橋梁耐震化や津波避難誘導対策を着実に推進するとともに、利用者にとって安全・安心で快適な道路となるよう維持管理を行う。</p> <p>交通量が新型コロナウイルス感染症等の影響から回復基調にある中、多様な利用促進策の実施による料金収入の確保と経費の縮減に取り組み、健全な経営に努める。</p> |
| | 経営・事業運営改善 | <p>道路施設等の計画的補修の実施</p> <p>橋梁の耐震対策、津波避難誘導対策の早期実施</p> <p>(計画) 一ツ葉有料道路補修計画に基づき、県と連携を図りながら計画的な補修工事等を行う。 橋梁の耐震対策や津波避難誘導対策の詳細設計業務を行い、一部工事を実施する。 (実績) 一ツ葉有料道路補修計画に基づき県等と連携を図りながら道路照明のLED化工事や郡司分橋等の補修工事を計画的に実施した。 橋梁の耐震化対策や津波避難誘導対策の詳細設計業務を行うとともに、佐土原跨線橋の耐震化工事に着手した。</p> | <p>(計画) 一ツ葉有料道路補修計画(R2策定)に基づき、県と連携を図りながら計画的な補修工事等を行う。 橋梁の耐震対策や津波避難誘導対策の工事を行う。 (実績) 補修優先度の高い、島田橋の補修工事に着手した。また、休憩所トイレの建て替えと東屋の新設及び料金所の改修と料金徴収システムの更新を完了した。 橋梁耐震対策については、佐土原跨線橋の工事を完了し、一ツ葉橋の工事に着手した。 津波避難誘導対策については、道路・津波情報板26基の新設工事を完了し、非常退避場整備工事に着手した。</p> | <p>(計画) 一ツ葉有料道路補修計画(R2策定)に基づき、県と連携を図りながら計画的な補修工事等を行う。 橋梁の耐震対策や津波避難誘導対策の工事を行う。</p> |
| | ②公社等の経営見直し | <p>料金収入の確保及び経費削減</p> <p>回数券販売促進活動</p> <p>(計画) 料金収入の確保を図るとともに、引き続き経費の削減に努める。 通行料金値下げに伴い、料金収入の目標額は減少するが、収入確保に向け、回数券の販売促進活動を強化していく。 (実績) 新型コロナウイルス感染症等の影響による交通量減少もあり、料金収入は目標値を下回った。 回数券販売額は販売促進活動を強化した結果、目標値を上回った。 道路照明のLED化等による経費削減に努めた。</p> | <p>(計画) 新型コロナウイルス感染症等の影響により、厳しい経営環境が予想されるが、料金収入の確保を図るとともに、引き続き経費の削減に努める。 (実績) 新型コロナウイルス感染症等の影響を受けたものの、交通量及び回数券販売額は目標値を上回った。 これにより、料金収入については、前年度を上回ったが、目標値をやや下回った。 料金収入の確保を図るため、市町村や事業所等への訪問営業、ラジオCM放送等利用促進策を実施した。 経費削減については、料金所改修の施工方法見直しによる工事費の削減、道路植栽管理・草刈の経費削減を目的とした生長抑制剤使用による試験施工等に取り組んだ。 回数券販売促進活動については、コンビニ等販売委託先の新規開拓を進めた。</p> | <p>(計画) 回数券の販売促進等により料金収入の確保を図るとともに、工事費や維持管理経費の削減に努める。</p> |

| | | | | | |
|---------------|---------|------------------|--|---|---|
| | 組織等適正化 | ・適正な執行体制の確保 | (計画) 適切な組織体制及び職員数を確保し、効率的な業務執行を行う。 (実績) 耐震化対策等事業量の増大、住宅供給公社の解散に伴い、道路課を1班から2班にし総務課を2班から1班に変更する組織体制の再編整備を行い、効率的な業務執行に努めた。 | (計画) 再雇用職員の占める割合が高く、職員の年齢層が高い状態にあるため、県派遣職員の継続配置と増員により人材の若返りを図り、適切な組織体制を確保し、効率的な業務執行を行う。 (実績) 県派遣職員を継続配置するとともに、プロパー職員を1名採用し、適切な組織体制を確保し、効率的な業務執行に努めた。 | (計画) 県派遣職員の継続配置と、プロパー職員の育成により、適切な組織体制を確保し、効率的な業務執行を行う。 |
| ③ 県と公社等の関係見直し | 人的支援見直し | ・必要に応じた県職員の派遣見直し | (計画) 道路工事施工は高度な専門性を要することから、県の技術職員の派遣を前提としながら、適切な組織体制及び職員数を確保し、効率的な業務執行を行う。 (実績) 事業量の増加及び高度な専門性が必要となったことから、県派遣技術職員を2名増員した。 | (計画) 高度な専門性を必要とする橋梁の耐震対策を着実に推進するため、県派遣技術職員の配置を前提としながら、適切な組織体制及び職員数を確保し、効率的な業務執行を行う。 (実績) 橋梁の耐震対策事業等を着実に推進するため、県派遣技術職員3名を継続配置した。 | (計画) 高度な専門性を必要とする橋梁の耐震対策事業等を着実に推進するため、県派遣技術職員の配置を前提としながら、適切な組織体制及び職員数を確保し、効率的な業務執行を行う。 |
| | 財政支出見直し | | | | |
| ④ 情報公開推進 | | ・ホームページでの情報公開の充実 | (計画) ホームページの適宜更新に努める。 (実績) ホームページの適宜更新に努めるとともに、SNS(Twitter)を活用したタイムリーな道路情報の発信を行った。 | (計画) ホームページの適宜更新、SNS(Twitter)を活用したタイムリーな道路情報の発信に努める。 (実績) ホームページの適宜更新に努めるとともに、SNS(Twitter)を活用し、料金所ブースの建替やトイレ改修、規制情報等タイムリーな情報の発信を行った。 | (計画) ホームページの内容充実を図るとともに、SNS(Twitter)を活用したタイムリーな道路情報の発信に努める。 |

| | (人) | 令和3年度 | | | | 令和4年度 | | | |
|-------------|--------------|-------|-------|-------|-------------------|-------|-------|-------|--------|
| | | 合計 | 県職員 | 県退職者 | 左記以外の者 | 合計 | 県職員 | 県退職者 | 左記以外の者 |
| 人的支援 | 役員数 | 5 | 1 | 3 | 1 | 4 | 1 | 2 | 1 |
| | 常勤 | 4 | 1 | 3 | 0 | 3 | 1 | 2 | 0 |
| | 非常勤 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 |
| | 職員数 | 11 | 4 | 5 | 2 | 11 | 4 | 4 | 3 |
| 財政支出等 | (千円) | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | (千円) | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | |
| | 県委託料 | 0 | 0 | 0 | 県借入金残高 | 0 | 0 | 0 | |
| | 県補助金 | 0 | 0 | 0 | 県の損失補償契約等に基づく債務残高 | 0 | 0 | 0 | |
| | 県交付金・負担金・出資金 | 0 | 0 | 0 | 県職員人件費(県支給分) | 0 | 0 | 0 | |
| その他の県からの支援等 | | | | | | | | | |

| 主な県財政支出の内容 | 事業名 | 事業内容 | 令和3年度 | 令和4年度 | 種別 |
|------------|-----|------|---------|---------|----|
| | | | 決算額(千円) | 予算額(千円) | |
| ① | | | | | |
| ② | | | | | |
| ③ | | | | | |
| ④ | | | | | |
| ⑤ | | | | | |

| 実施事業 | ① | 一ツ葉有料道路の維持、修繕及び管理 | | | | | |
|---------------|----------------|--|---------------|---------|--------|---------|---------|
| | ② | 一ツ葉有料道路北線の休憩所の管理 | | | | | |
| ③ | 自動車駐車場(31台)の管理 | | | | | | |
| 活動指標 | 指標名 | 算式(単位) | 令和3年度 | | | 令和4年度 | 令和5年度 |
| | | | 目標値 | 実績値 | 達成度(%) | 目標値 | 目標値 |
| | ① | 一ツ葉有料道路利用台数 | 年間の延べ通行台数(千台) | 6,793 | 7,112 | 104.7% | 7,112 |
| ② | 有料道路回数券販売活動 | 年間販売額(千円) | 296,574 | 302,499 | 102.0% | 302,499 | 302,499 |
| ③ | | | | | | | |
| 指標の設定に関する留意事項 | | 活動指標①②の令和4年度以降の目標値については、令和3年度の有料道路利用台数及び回数券販売額実績値に基づいて上方修正(3年度実績値を計上)を行った。 | | | | | |

| | 収支計算書 (千円) | | | 貸借対照表 (千円) | | | |
|------------|------------|---------|---------|-------------|------------|------------|------------|
| | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | |
| 収入 A | 1,188,064 | 841,944 | 931,311 | 資産 A | 21,696,816 | 21,789,322 | 22,320,749 |
| 事業収入 | 1,187,495 | 831,428 | 910,527 | 流動資産 | 4,182,870 | 4,139,547 | 3,854,603 |
| 補助金等収入 | 0 | 0 | 0 | 固定資産 | 17,513,945 | 17,649,775 | 18,466,147 |
| 上記以外の収入 | 569 | 10,516 | 20,784 | 負債 B | 18,709,816 | 18,802,322 | 19,333,749 |
| 支出 B | 1,188,064 | 841,944 | 931,311 | 流動負債 | 164,103 | 51,749 | 184,015 |
| 事業費 | 533,115 | 496,987 | 380,910 | 固定負債 | 18,545,713 | 18,750,574 | 19,149,735 |
| 管理費 | 143,093 | 133,587 | 119,483 | 正味財産 A-B | 2,987,000 | 2,987,000 | 2,987,000 |
| その他の支出 | 511,857 | 211,371 | 430,918 | うち基本金 | 2,987,000 | 2,987,000 | 2,987,000 |
| 当期収支差額 A-B | 0 | 0 | 0 | うち当期正味財産増減額 | 0 | 0 | 0 |

※千円未満を四捨五入して表示しているため、合計の金額と一致しない場合があります。

| 指標名 | 算式 (単位) | 令和3年度 | | | 令和4年度 | 令和5年度 |
|----------------|---------|---------|---------|--------|---------|---------|
| | | 目標値 | 実績値※ | 達成度(%) | 目標値 | 目標値 |
| ① 道路料金収入 (千円) | | 929,699 | 907,444 | 97.6% | 927,199 | 924,655 |
| ※ 令和3年度 実績値の算式 | | | | | | |
| ② | | | | | | |
| ※ 令和3年度 実績値の算式 | | | | | | |
| ③ | | | | | | |
| ※ 令和3年度 実績値の算式 | | | | | | |

指標の設定に関する
留意事項

| | |
|---------------|--|
| 直近の県監査 の状況 | 令和2年度財政援助団体等監査(令和3年11月10日)を受けた結果、指摘事項等は無かった。 |
|---------------|--|

| | | | |
|------|--|--|---|
| 総合評価 | <p>公社等自己評価</p> <p>改革工程は、佐土原跨線橋耐震化工事完了等の橋梁耐震化、道路・津波情報板新設等の津波避難誘導対策に取り組む等、概ね良好に推移している。 活動内容については、新型コロナウイルス感染症等の影響を受けたものの、活動指標の通行台数は達成度104.7%と目標を上回った。回数券販売額についても達成度102.0%と目標を上回った。 財務内容については、道路料金収入が目標値を下回ったものの、前年度比較で増収となり、資産状況や資金繰りを含めた財政基盤も安定している。 組織運営については、県派遣職員を継続配置するとともに、プロパー職員を採用し、適切な業務執行体制の維持を図ることができた。 今後も、公社事業に影響する外部環境の変化に注視しながら、道路料金収入の確保及び経費削減を図る。併せて、橋梁耐震化や津波避難誘導対策に計画的に取り組むとともに快適な道路の維持管理に努めていく。</p> | <p>県所管部課 二次評価</p> <p>令和3年度は、コロナ禍の影響があったものの道路利用台数は目標値を達成しており、また、道路料金収入は目標値を達成できなかったが、前年度と比較して増収となるなど安定した管理運営が図られている。引き続き、道路料金収入の確保や経費削減に取り組み、経営基盤の強化を図るなど、県出資金の償還に努める必要がある。 さらに、国土強靱化の観点から県民の生命、安全・安心な暮らしを守るため、道路等の計画的な補修、橋梁の耐震対策及び津波避難誘導対策を着実に推進していく必要がある。</p> | |
| | <p>評価 (A:良好、B:ほぼ良好、Cやや課題あり、D課題多い)</p> <p>改革工程 A 活動内容 A 財務内容 A 組織運営 A</p> | | <p>評価 (A:良好、B:ほぼ良好、Cやや課題あり、D課題多い)</p> <p>改革工程 A 活動内容 A 財務内容 A 組織運営 A</p> |
| | <p>目標達成度</p> | | <p>公社等改革推進委員会 三次評価</p> <p>活動内容については、一ツ葉有料道路の料金徴収業務や計画的な補修工事の実施など適切な管理を行っており、いずれの指標でも目標値を達成していることから、評価ができる。 財務内容については、目標をおおむね達成し、費用の削減に取り組むとともに、償還準備金繰入を行っており、評価できる。 引き続き、道路等の補修や橋梁の耐震対策に計画的に取り組むとともに、料金収入の確保や経費削減等による経営基盤の強化に取り組む必要がある。</p> |